

# リスク分析

分類	想定されるリスク	主な原因等	全体的原因	備考	
発注・検収に関する不正	業者と結託し代金を水増しで請求し、その水増しの一部を担当者に還流。	・担当者と特定業者が密接になるまでの取引慣行。 ・同一担当者が発注～検収まで行う仕組み。 ・不十分な事務局部門による検収体制。 ・チェック体制の不備	・責任体制が不明確。 ・コンプライアンスの不徹底。 ・チェック機能、監査機能の形骸化。 ・ルールと運用実態の乖離。 ・ルールの周知不足。		
	業者と結託し架空の取引をねつ造し、その代金の一部を担当者に還流。				
	虚偽の伝票を作成し別の物品を購入または担当者に還流。				
	実際には物品が納入されていない、もしくは発注条件が満たされていないにも関わらず、不正な伝票操作により、検収完了とする。				
謝金・賃金に関する不正	出勤簿等のねつ造、改ざんによる謝金賃金の水増し。	・担当者任せの勤務管理。 ・上長、事務部門による監視体制、確認体制の不備			
	実態が無いにも関わらず、架空の要員を雇用者として、支払われた費用を不正利用。				
旅費・交通費に関する不正	実態の無い出張計画、出張報告書をねつ造し旅費・交通費を不正取得。	・出張計画の妥当性、出張報告との整合性確認不備。 ・チェック体制の形骸化			
	出張計画より実際は短い期間であったにも関わらず、計画のままで出張報告を行い、差額を不正取得。				
	出張者の人数を偽り差額を不正取得。				
	出張先における実態の無い移動を水増し計上し差額を不正取得。				
	格安航空券を取得したにも関わらず、正規料金で請求し差額を不正取得。				